

沖縄キリスト教短期大学FD委員会  
(編・著)

2015年度 後期

# 学生による授業評価報告書

巻頭言

第1章 全体的評価

第2章 科目・クラス別評価

総合教育系科目

英語科科目

保育科科目

第3章 自由記述による授業評価

付 録 満足度調査報告

沖縄キリスト教短期大学

## 沖縄キリスト教短期大学

### 2015 年度 後期授業評価

沖縄キリスト教短期大学

学長 中原 俊明

1,この度、短期大学の2015年度後期の学生による授業評価報告書が公刊の運びとなったが、これはFD委員会の構成メンバーである教員、事務職員等による共同作業が結実したもので、改めてそのご尽力に衷心より感謝申し上げたい。

2,報告書は、全体的評価、科目・クラス別評価、自由記述による評価で構成される。冒頭の全体評価は、Ⅰ学習態度の自己評価及びⅡ学習環境の評価に区分され、まず全学科横断的に集約されている。これを概観すると、Ⅰでは、学生達のポジティブな評価が9割を越えた項目として、初回オリエンテーションへの理解、授業の受講マナー、発展的学習や新たな知識への興味、授業参加への積極性、等がある。他方、90%を切った事項として予習復習や自主的フィードバック努力があり、両方の明暗がみえる。

「Ⅱ学習環境への評価」では、9つの質問項目すべてにおいて、ポジティブな反応が90%超で見られたが、その具体的内容として、例えば、授業での質問機会の存在、教師による理解や興味を引き出す工夫、教師側の不適切な発言や態度の不存在、授業の進捗、「学んだ」という達成感等であった。いずれも良好な結果であり、各教師の努力の賜物であるが、今後ともその持続発展という宿題を覚えない。

3,自由記述による授業評価は、多岐にわたるが、12頁に学科、系ごとに集約されている。2016年3月、卒業直前の学生たちを対象にした満足度調査の結果も興味深い。本学院の建学の精神は、キリスト教を基本に、沖縄（歴史と現状）そして平和の3本柱からなり、更に学生達には国際化時代を生きるため「批判精神」(critical spirit)の重要性が説かれる。この関連で学生の感想をみると、「グローバル社会でのキリスト教の重要性を学んだ」「クリスマスカードやイースターエッグ等に触れてよかった」とあるほか、卒業直前アンケートで「キリスト教への関心が深まった」とする割合が84.5%、「聖書を通読してみたい」層が6割となっており、「建学の精神」への理解の深化を印象づけられる。沖縄や平和という課題に関連して、「沖縄のことを英語で学んで海外で伝えたい」「戦争体験を教材化して自分たちの知らない事実を伝えねばならない」との思いを吐露した記述があった。保育の学生からは「キリスト教保育」を学ぶ大事さへの言及もあった。その他、英米の歴史や文学に触れたこと、クバサキハイスクール学生とのディスカッション体験、英検へのアドバイスの有益さ、等の記述もあった。

4,全体として、次のステップへ向け力強い成果を印象づけられた内容である。

沖縄キリスト教短期大学FD委員会委員（2015年度）

中原 俊 明（委員長・学長）  
大山 伸 子（委員・短期大学部長）  
作 田 真由子（委員・英語科長）  
大 城 り え（委員・保育科長）  
上 原 明 子（委員・総合教育系主任）  
金 城 繁 正（委員・企画推進課長）  
金 城 太 （委員・企画推進課主任）

執筆者

仲 座 栄利子（英語科）  
照 屋 建 太（保育科）  
青 野 和 彦（総合教育系）

以上

## 第 1 章

# 全体の評価

## はじめに

2015年度後期の授業評価アンケートを、同年1月（当該学期末に近い時期）に実施し、95科目、191クラスについて分析を行った。分析に投与された評価表は、4,157件であった。評価は5段階法を採用しており、1点を最低、5点を最高の評価としている（質問項目9は2段階法）。

本章では、「Ⅰ 学習態度の自己評価」および「Ⅱ 学習環境の評価」についての全体的な傾向を示す。

### 1 各設問に対する結果

以下に、「Ⅰ 学習態度の自己評価」に関する結果に対して若干の解説、解釈を述べる。各設問に対する数量的な結果については、後に度数分布表および棒グラフとして示す。

#### Q1 「初回のオリエンテーションを聞き、授業の概要や目的、成績評価の方法などについて正しく理解していた」

評価の平均は、4.63であり、「5」評価が70.8%、「4」評価の22.4%を加えると93.2%であった。9割以上の学生が、教員の授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解がされているものと考えられる。

#### Q2 「私語や携帯電話の使用など、授業を乱す行為をしなかった」

評価の平均は、4.64であり、「5」評価が71.8%、「4」評価の21.1%を加えると92.9%であったことから9割以上の学生が、概ね受講マナーは守られているものと思われる。

#### Q3 「この授業をきっかけに、発展的な学習や新しい知識に興味を沸いた」

評価の平均は、4.61であり、「5」評価が70.3%、「4」評価の21.6%を加えると91.9%であった。この数値から、授業が新たな学びへの動機付けとなっていたことが考えられる。

#### Q4 「この授業に、積極的に参加した」

評価の平均は、4.57であり、「5」評価が67.1%であり、「4」評価の23.9%を加えると91%であった。この数値から、学生達の積極的参加度の高さがわかる。

#### Q5 「授業時間以外にも、授業の準備や課題を行うなど、計画的に学習に取り組んだ」

評価の平均は、4.41であり、「5」評価が59.2%、「4」評価が25.9%を加えると85.1%である。この数値から、学生達は継続して、学習に計画的に取り組んでいるものと考えられる。

**Q6 「この授業を通して、地域および国際社会の事情に、より関心を持つようになった」**

評価の平均は、4.42 であり、「5」評価 60.1%と「4」評価 24.5%を加えると 84.6%である。平均と「5」の評価が多くなり、学生達は、地域および国際社会の事情に高い関心をもつようになっていると考えられる

**Q7 「この授業の予習・復習または準備・フィードバックを自主的に行った」**

評価の平均は、4.29 であり、「5」評価が 53.9%、「4」評価が 26.0%を加えると 79.9%である。平均と「5」の評価が多くなっており、準備・フィードバックを自主的に行っているものとする。

**Q8 「この授業での遅刻はなかった」**

評価の平均は、4.67 であり、「5」評価が 79.9%、「4」評価が 11.1%を加えると 91.0%である。9割以上の学生が「この授業での遅刻はなかった」と考えている。

**Q9 「この授業での欠席回数を把握している」**

「はい」の評価が 75.3%、「いいえ」の評価が 24.7%であり、「はい」の平均が「いいえ」の評価より多くなっており、学生は欠席回数を把握しているものと考えられる。

以上が「Ⅰ 学習態度の自己評価」に関する項目である。続いて「Ⅱ 学習環境の評価」に関して結果を述べる。

**Q10 「授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった」**

評価の平均は、4.60 であり、「5」評価が 70.8%、「4」評価が 20.5%を加えると 91.3%である。9割以上の学生が「授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった」と考えている。

**Q11 「授業の開始・終了時間は適切であった」**

評価の平均は、4.73 であり、「5」評価が 80.0%、「4」評価が 14.7%を加えると 94.7%である。9割以上の学生が「授業の開始・終了時間は適切であった」と考えている。

**Q12 「授業の進め方にメリハリ（声の大小・説明内容等）があった」**

評価の平均は、4.68 であり、「5」評価が 76.6%、「4」評価が 16.3%を加えると 92.9%であり、授業の進め方にメリハリが見られたものとする。

**Q13 「理解や興味を引き出すよう工夫されていた」**

「5」の評価が 72.9%、「4」評価が 18.4%であった。「3」以上の評価を加えると 91.3%となり9割を占めている。この結果は、2015年度前期より平均値が上がっていた。学生にとって理解や興味を引き出すような講義が工夫されて行われていると考えられる。

**Q14 「教員としての相応しくない発言や態度はなかった」**

「5」の評価が 80.7%、「4」評価が 13.6%であった。「3」以上の評価を加えると 94.3%となり 9 割を占めている。この結果も、2015 年度前期より平均値が上がっていた。教員として相応しくない発言や態度は、ほとんど無かったと考えられる。

**Q15 「受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた」**

「5」の評価が 72.7%、「4」評価が 18.5%であった。「3」以上の評価を加えると 91.2%となり 9 割を占めている。この結果は、2015 年度前期より平均値が上がっていた。学生にとって受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていたと考えられる。

**Q16 「教科書や配付資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていた」**

「5」の評価が 75.0%、「4」評価が 16.7%であった。「3」以上の評価を加えると 91.7%となり 9 割を占めている。この結果は、2015 年度前期より平均値が上がっていた。講義は、教科書や配付資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていたと考えられる。

**Q17 「授業の進度は、適切であった」**

「5」の評価が 77.7%、「4」評価が 15.1%であった。「3」以上の評価を加えると 92.8%となり 9 割を占めている。この結果は、2015 年度前期より平均値が上がっていた。学生にとって授業の進度は、適切であったと考えられる。

**Q18 「学んだという達成感が得られた」**

「5」の評価が 75.1%、「4」評価が 17.0%であった。「3」以上の評価を加えると 92.1%となり 9 割を占めている。この結果は、2015 年度前期より平均値が上がっていた。学生にとって学んだという達成感が得られたと考えられる。

**1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解**

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	13	.3	.3	.3
	2	24	.6	.6	.9
	3	247	5.9	6.0	6.9
	4	927	22.3	22.4	29.3
	5	2932	70.5	70.8	100.1
	合計	4143	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	14	.3		
合計		4157	100.0		

**2. 授業を乱す行為をしない**

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	6	.1	.1	.1
	2	21	.5	.5	.6
	3	270	6.5	6.5	7.1
	4	875	21.0	21.1	28.2
	5	2979	71.7	71.8	100.0
	合計	4151	99.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	.1		
合計		4157	100.0		

## 3. 発展的な学習や新しい知識への興味

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	9	.2	.2	.2
	2	40	1.0	1.0	1.2
	3	285	6.9	6.9	8.1
	4	898	21.6	21.6	29.7
	5	2917	70.2	70.3	100.0
	合計	4149	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	8	.2		
合計		4157	100.0		

## 4. 積極的な参加

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	5	.1	.1	.1
	2	32	.8	.8	.9
	3	334	8.0	8.1	9.0
	4	993	23.9	23.9	32.9
	5	2784	67.0	67.1	100.0
	合計	4148	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	9	.2		
合計		4157	100.0		

## 5. 計画的な学習への取り組み

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	21	.5	.5	.5
	2	84	2.0	2.0	2.5
	3	514	12.4	12.4	14.9
	4	1073	25.8	25.9	40.8
	5	2458	59.1	59.2	100.0
	合計	4150	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.2		
合計		4157	100.0		

## 6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	19	.5	.5	.5
	2	68	1.6	1.6	2.1
	3	553	13.3	13.3	15.4
	4	1015	24.4	24.5	39.9
	5	2495	60.0	60.1	100.0
	合計	4150	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.2		
合計		4157	100.0		

## 7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	46	1.1	1.1	1.1
	2	118	2.8	2.8	3.9
	3	674	16.2	16.2	20.1
	4	1077	25.9	26.0	46.1
	5	2235	53.8	53.9	100.0
	合計	4150	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.2		
合計		4157	100.0		

## 8. 遅刻はない

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	61	1.5	1.5	1.5
	2	56	1.3	1.4	2.9
	3	256	6.2	6.2	9.1
	4	461	11.1	11.1	20.2
	5	3314	79.7	79.9	100.1
	合計	4148	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	9	.2		
合計		4157	100.0		

## 9. 欠席回数の把握

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	2861	68.8	75.3	75.3
	2	936	22.5	24.7	100.0
	合計	3797	91.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	360	8.7		
合計		4157	100.0		

## 10. 授業中の質問する機会や工夫

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	21	.5	.5	.5
	2	36	.9	.9	1.4
	3	302	7.3	7.3	8.7
	4	853	20.5	20.5	29.2
	5	2939	70.7	70.8	100.0
	合計	4151	99.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	.1		
合計		4157	100.0		

11. 適切な授業の開始・終了時間

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	14	.3	.3	.3
	2	23	.6	.6	.9
	3	186	4.5	4.5	5.4
	4	609	14.6	14.7	20.1
	5	3319	79.8	80.0	100.1
	合計	4151	99.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	.1		
合計		4157	100.0		

12. メリハリのある授業の進め方

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	12	.3	.3	.3
	2	34	.8	.8	1.1
	3	252	6.1	6.1	7.2
	4	675	16.2	16.3	23.5
	5	3179	76.5	76.6	100.1
	合計	4152	99.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	5	.1		
合計		4157	100.0		

13. 理解や興味を引き出す工夫

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	18	.4	.4	.4
	2	42	1.0	1.0	1.4
	3	301	7.2	7.3	8.7
	4	763	18.4	18.4	27.1
	5	3026	72.8	72.9	100.0
	合計	4150	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.2		
合計		4157	100.0		

14. 教員としての相応しい発言や態度

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	8	.2	.2	.2
	2	37	.9	.9	1.1
	3	193	4.6	4.6	5.7
	4	563	13.5	13.6	19.3
	5	3350	80.6	80.7	100.0
	合計	4151	99.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	.1		
合計		4157	100.0		

15. 学習環境、受講生のマナーの維持

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	9	.2	.2	.2
	2	49	1.2	1.2	1.4
	3	306	7.4	7.4	8.8
	4	767	18.5	18.5	27.3
	5	3018	72.6	72.7	100.0
	合計	4149	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	8	.2		
合計		4157	100.0		

16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用

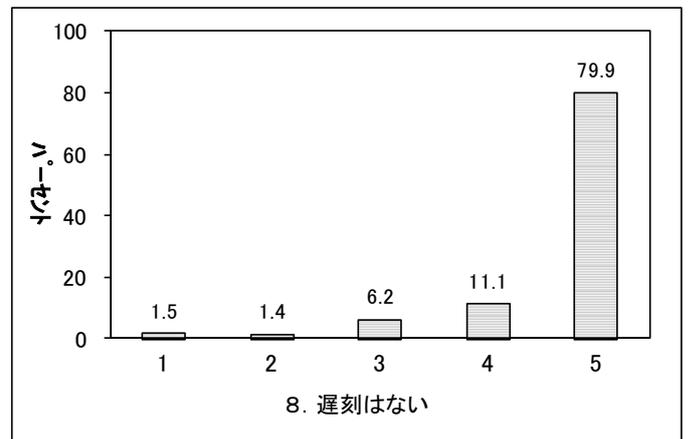
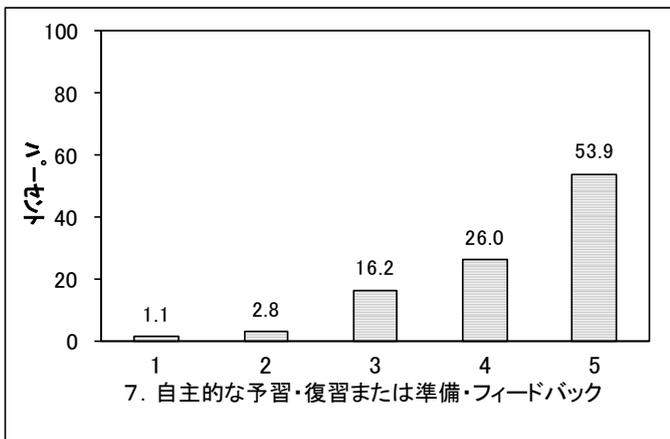
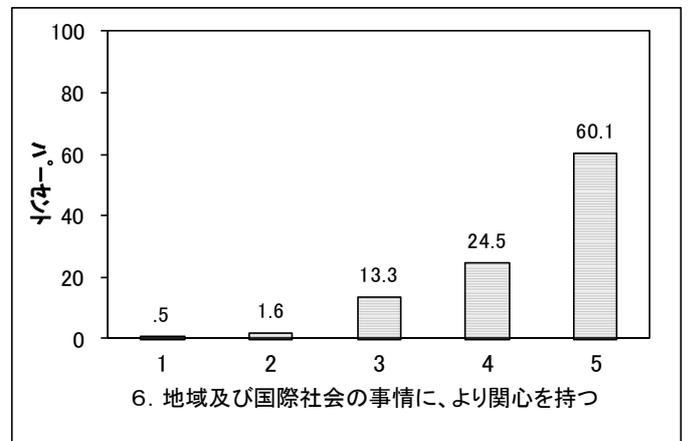
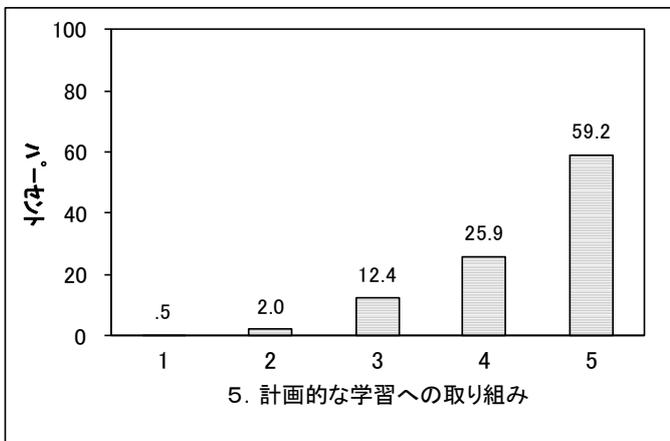
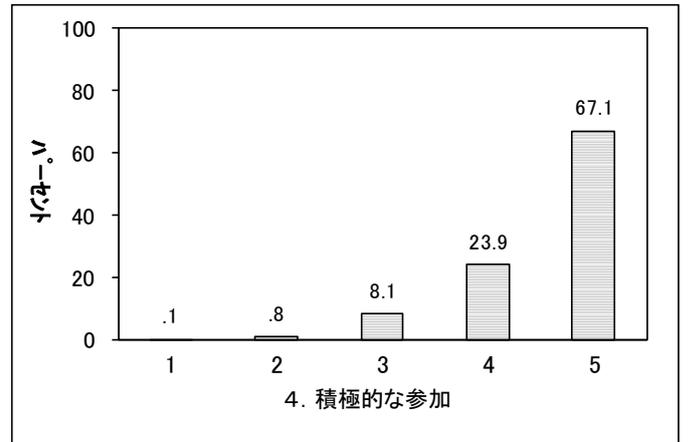
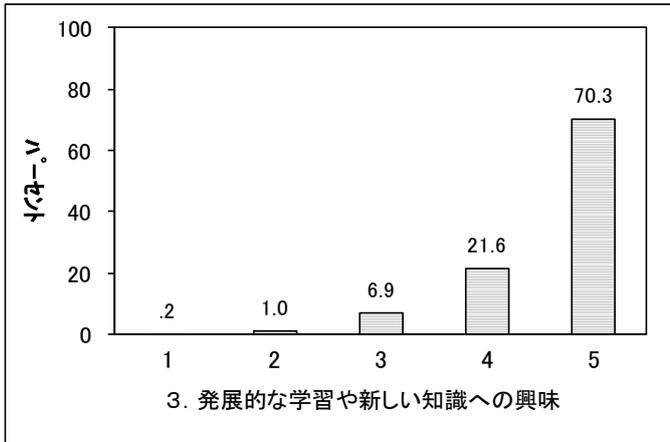
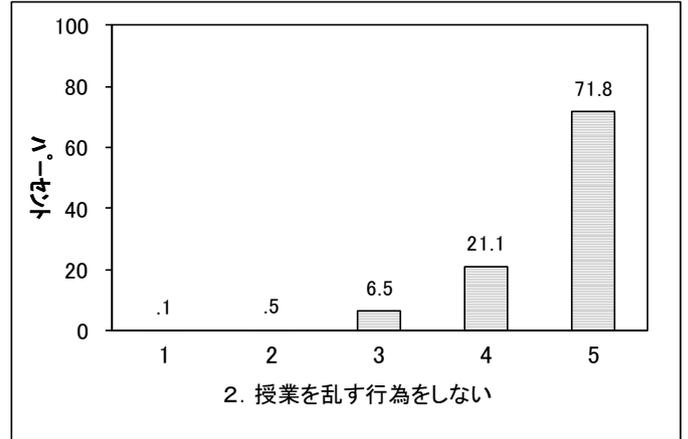
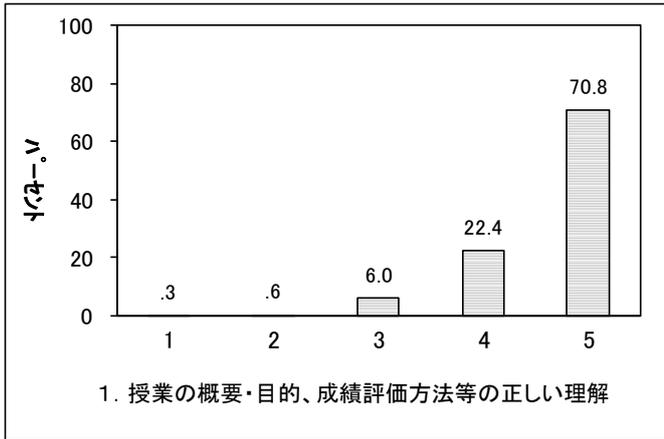
		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	19	.5	.5	.5
	2	41	1.0	1.0	1.5
	3	284	6.8	6.8	8.3
	4	691	16.6	16.7	25.0
	5	3113	74.9	75.0	100.0
	合計	4148	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	9	.2		
合計		4157	100.0		

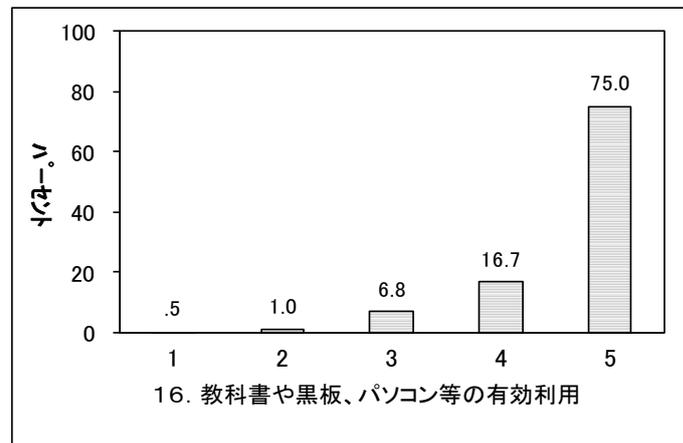
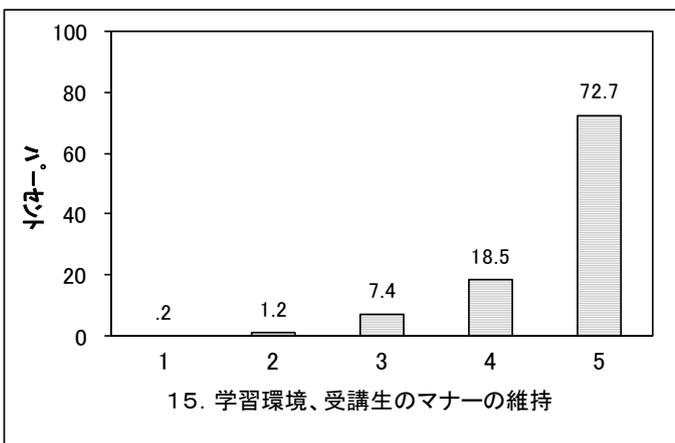
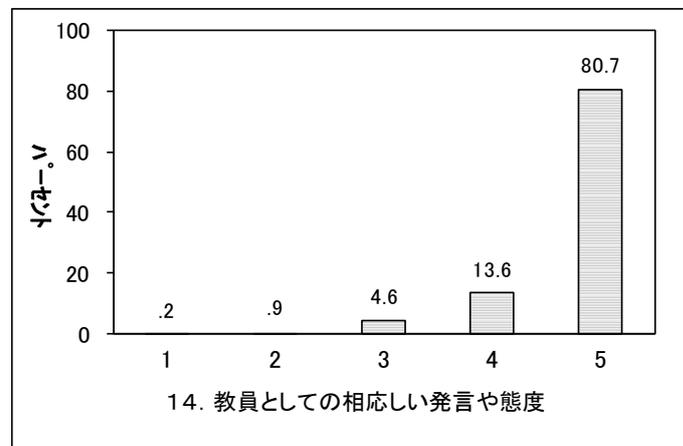
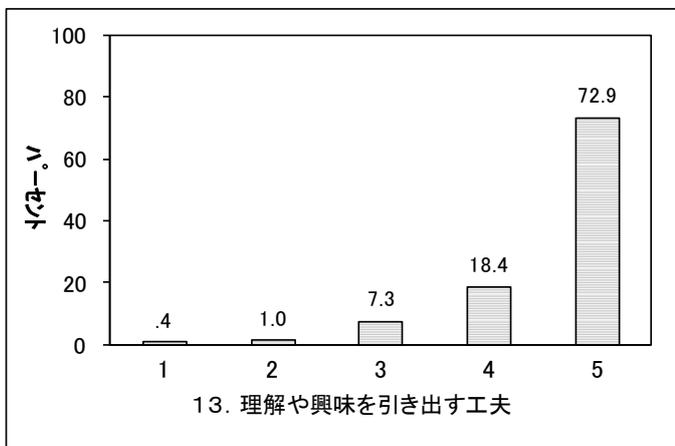
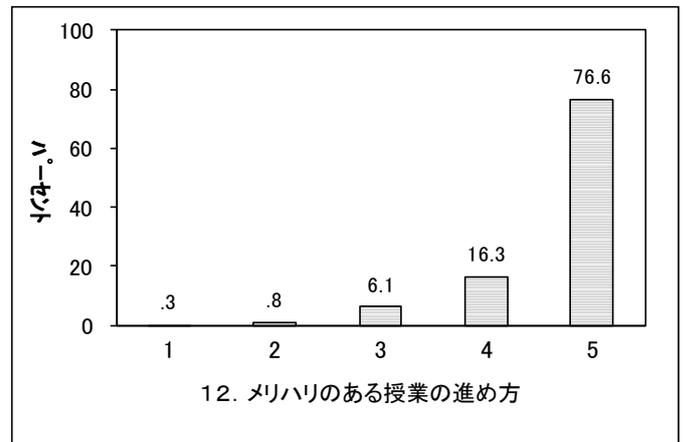
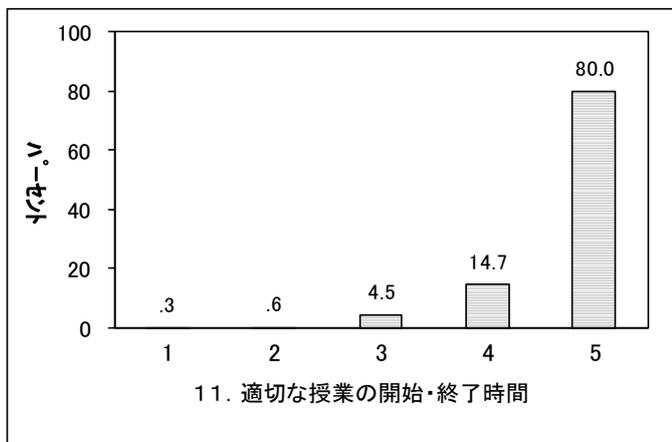
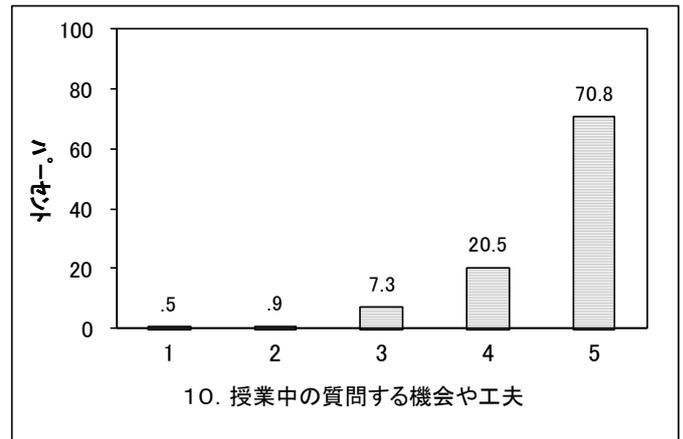
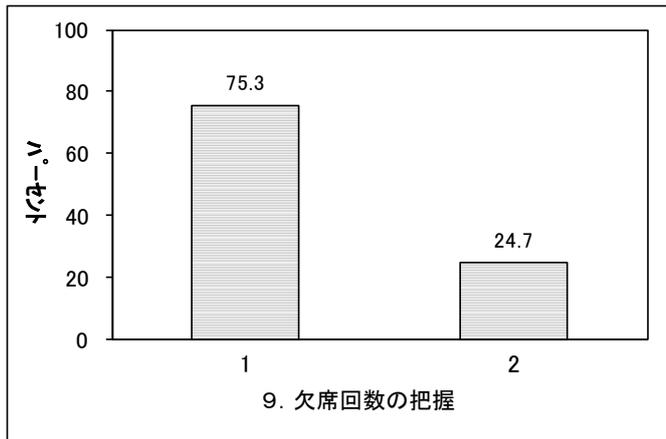
17. 適切な授業の進度

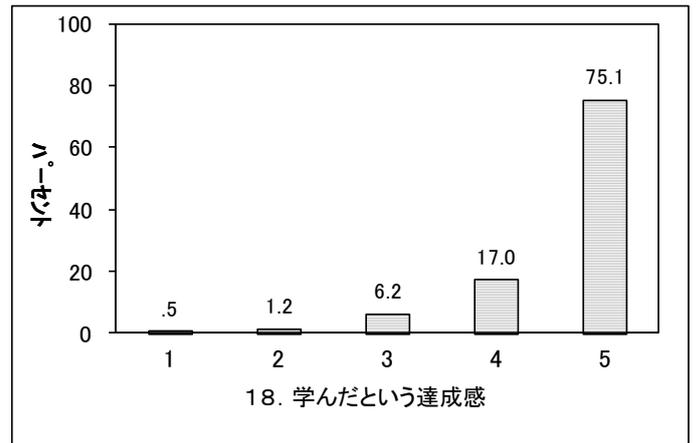
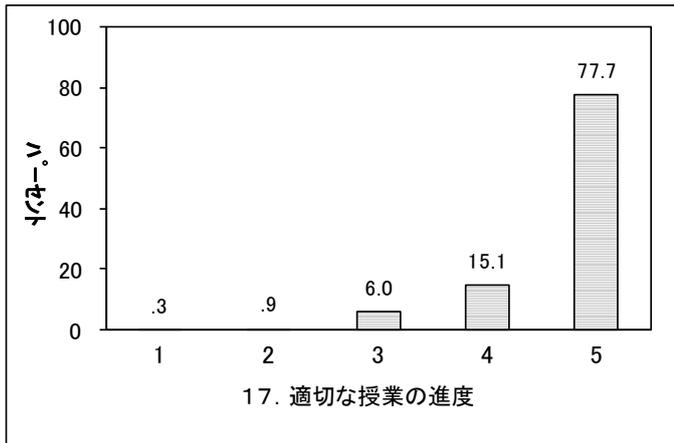
		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	12	.3	.3	.3
	2	39	.9	.9	1.2
	3	247	5.9	6.0	7.2
	4	628	15.1	15.1	22.3
	5	3224	77.6	77.7	100.0
	合計	4150	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.2		
合計		4157	100.0		

18. 学んだという達成感

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	22	.5	.5	.5
	2	51	1.2	1.2	1.7
	3	256	6.2	6.2	7.9
	4	706	17.0	17.0	24.9
	5	3114	74.9	75.1	100.0
	合計	4149	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	8	.2		
合計		4157	100.0		







## 2 全体の評定結果

5段階評価に対する18項目中17項目の平均値は、4.29を超え学生は、概ね自らの学習態度および、大学が提供する学習環境に対して、肯定的に評価していると捉えて良いだろう。また、前年度後期の調査結果と比較すると、評価の平均は僅かながらすべての項目で高くなっている。そのことより、「学習の自己評価」および「学習環境の評価」は前期と比較して高くなっていると考えられる。但し、概ね良好な数値を示しているものの、「項目7」の平均値に示されるように、自主学習のための時間の確保が今後の課題となろう。

### ▼ 全学科

記述統計量<sup>a</sup>

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度の自己評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	4143	2932	927	247	24	13	4.63	.652
	2. 授業を乱す行為をしない	4151	2979	875	270	21	6	4.64	.639
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	4149	2917	898	285	40	9	4.61	.678
	4. 積極的な参加	4148	2784	993	334	32	5	4.57	.683
	5. 計画的な学習への取り組み	4150	2458	1073	514	84	21	4.41	.820
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	4150	2495	1015	553	68	19	4.42	.815
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	4150	2235	1077	674	118	46	4.29	.913
	8. 遅刻はない	4148	3314	461	256	56	61	4.67	.777
	9. 欠席回数数の把握	3797	-	-	-	936	2861	.68	.431
II 学習環境の評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	4151	2939	853	302	36	21	4.60	.706
	11. 適切な授業の開始・終了時間	4151	3319	609	186	23	14	4.73	.599
	12. メリハリのある授業の進め方	4152	3179	675	252	34	12	4.68	.650
	13. 理解や興味を引き出す工夫	4150	3026	763	301	42	18	4.62	.702
	14. 教員としての相応しい発言や態度	4151	3350	563	193	37	8	4.74	.603
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	4149	3018	767	306	49	9	4.62	.692
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	4148	3113	691	284	41	19	4.65	.692
	17. 適切な授業の進度	4150	3224	628	247	39	12	4.69	.651
	18. 学んだという達成感	4149	3114	706	256	51	22	4.65	.699

### 3 学科ごとの評定結果

#### 3.1 総合教育系の評定結果

1. 学習態度の自己評価では、「項目 9」を除き、4.4 であり、良好と思われるが、「項目 7」の自主的な予習・復習または準備・フィードバックが他の項目と比較して低い値となっており、学生達のより積極的な授業への取り組みが必要である。短大の教育課程において一般教育（教養教育）科目を提供することは、学生達が広く多角的視野を修養する上で必要であり、専門学校の課程と異なる特色でもあるので、総合教育系として今後も学習の意義を伝える必要があるものと思われる。

2. IIの学習環境の評価では殆どの項目が 4.5 以上であり、学習環境には満足していると考えられる。

#### ▼ 総合教育系

記述統計量<sup>a</sup>

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度 の自己 評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	809	564	168	67	6	4	4.58	.716
	2. 授業を乱す行為をしない	811	567	169	72	2	1	4.60	.669
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	810	540	163	85	19	3	4.50	.804
	4. 積極的な参加	810	514	201	86	8	1	4.50	.733
	5. 計画的な学習への取り組み	811	415	196	162	32	6	4.21	.945
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	811	454	194	137	19	7	4.32	.894
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	811	390	203	165	38	15	4.13	1.011
	8. 遅刻はない	810	644	88	58	9	11	4.66	.773
	9. 欠席回数 of 把握	736	-	-	-	193	543	.73	.440
II 学習 環境 の 評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	812	531	188	74	14	5	4.51	.781
	11. 適切な授業の開始・終了時間	812	640	115	47	6	4	4.70	.655
	12. メリハリのある授業の進め方	812	607	133	55	15	2	4.64	.713
	13. 理解や興味を引き出す工夫	812	577	141	75	14	5	4.57	.780
	14. 教員としての相応しい発言や態度	812	645	110	48	8	1	4.71	.631
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	811	560	147	87	14	3	4.54	.782
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	810	600	127	66	11	6	4.61	.756
	17. 適切な授業の進度	812	617	111	63	18	3	4.63	.753
	18. 学んだという達成感	813	569	144	65	25	10	4.52	.862

a. 学科 = 総合教育系

### 3.2 英語科の評定結果

1. 学習態度の自己評価では殆どの項目で平均値が 4.0 以上であり、良いと思われるが、項目 7 の自主的な予習・復習または準備・フィードバックが他の項目と比較して低い値となっており、学生達のより積極的な授業への取り組みが必要である。
2. II の学習環境の評価では殆どの項目が 4.5 以上であり、学習環境には満足していると考えられる。

#### ▼ 英語科

記述統計量<sup>a</sup>

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習 態度 の 自己 評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	661	448	154	50	5	4	4.57	.718
	2. 授業を乱す行為をしない	664	393	193	69	8	1	4.46	.740
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	664	417	172	64	9	2	4.50	.749
	4. 積極的な参加	664	373	193	85	12	1	4.39	.789
	5. 計画的な学習への取り組み	664	314	194	126	23	7	4.18	.930
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	664	344	171	129	16	4	4.26	.893
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	664	278	188	151	35	12	4.03	1.010
	8. 遅刻はない	664	432	99	80	32	21	4.34	1.066
	9. 欠席回数の把握	620	-	-	-	220	400	2.04	.479
II 学習 環境 の 評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	664	468	136	48	7	5	4.59	.736
	11. 適切な授業の開始・終了時間	664	546	72	38	7	1	4.74	.624
	12. メリハリのある授業の進め方	664	503	110	43	4	4	4.66	.680
	13. 理解や興味を引き出す工夫	664	452	143	61	7	1	4.56	.715
	14. 教員としての相応しい発言や態度	664	508	95	44	15	2	4.64	.731
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	663	460	136	56	9	2	4.57	.729
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	664	502	110	47	4	1	4.67	.646
	17. 適切な授業の進度	664	494	124	38	6	2	4.66	.656
	18. 学んだという達成感	664	469	122	64	6	3	4.58	.739

a. 学科 = 英語科

### 3.3 保育科の評定結果

「Ⅰ 学習態度の自己評価」の平均値は、Q8「遅刻はない」が4.75、次いでQ2「授業を乱す行為をしない」が4.69、Q3「発展的な学習や新しい知識への興味」が4.67となっている。Q9「欠席の回数の把握」を除く、すべての項目で平均値は、4.5以上となっている。学生の学習態度の自己評価は、高い値を示している。教員の学習態度向上の取り組みが認められた結果と言える。

平均値が高い値を示す一方で、Q7「自主的な予習・復習または準備・フィードバック」は、0.833と標準偏差のばらつきが最も大きい。予習や復習の学習時間確保に向けた取り組みは、改善の余地があるといえる。

「Ⅱ 学習環境の評価」の平均値は、Q14「教員としての相応しい発言や態度」が4.77、Q11「適切な授業の開始・終了時間」が4.74、Q17「適切な授業の進度」が4.72となっている。「Ⅰ 学習態度の自己評価」同様に「Ⅱ 学習環境の評価」も、すべての項目の平均値は近い値となっており、4.6以上となっている。教員の学習環境向上の取り組みが、評価されていると言える。

また、「Ⅰ 学習態度の自己評価」のQ9「欠席回数の把握」は、1（はい）が78.6%と2（いいえ）が21.4%となっている。「はい」が多いことから学生が、体調管理等しっかり行っている様子も、この結果からうかがえる。今後も、学生の自己評価や学習環境の評価が高くなるように努めるとともに、学生間のばらつきがなくなるような取り組みを実践していく必要があるだろう。

#### ▼ 保育科

記述統計量<sup>a</sup>

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
Ⅰ 学習 態度 の 自己 評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	2673	1920	605	130	13	5	4.65	.613
	2. 授業を乱す行為をしない	2676	2019	513	129	11	4	4.69	.593
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	2675	1960	563	136	12	4	4.67	.607
	4. 積極的な参加	2674	1897	599	163	12	3	4.64	.628
	5. 計画的な学習への取り組み	2675	1729	683	226	29	8	4.53	.721
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	2675	1697	650	287	33	8	4.49	.758
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	2675	1567	686	358	45	19	4.40	.833
	8. 遅刻はない	2674	2238	274	118	15	29	4.75	.663
	9. 欠席回数の把握	2441	-	-	-	523	1918	.39	.410
Ⅱ 学習 環境 の 評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	2675	1940	529	180	15	11	4.63	.671
	11. 適切な授業の開始・終了時間	2675	2133	422	101	10	9	4.74	.574
	12. メリハリのある授業の進め方	2676	2069	432	154	15	6	4.70	.622
	13. 理解や興味を引き出す工夫	2674	1997	479	165	21	12	4.66	.671
	14. 教員としての相応しい発言や態度	2675	2197	358	101	14	5	4.77	.555
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	2675	1998	484	163	26	4	4.66	.650
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	2674	2011	454	171	26	12	4.66	.683
	17. 適切な授業の進度	2674	2113	393	146	15	7	4.72	.614
	18. 学んだという達成感	2672	2076	440	127	20	9	4.70	.624

a. 学科 = 保育科

## 4 自由記述による評価

### 4.1 総合教育系の授業について

評言全体を通して言えることは、教員が全体的に、学生達に対して教科への知的関心を持てるような工夫した授業を行っている。学生達は概ね、内容面・環境面で授業に満足している。視聴覚教材を利用して授業が分かり易い、教員の教え方が丁寧である、新たな発見があり、啓発させられた等の肯定的な記述が多く見られる。教員達が丁寧で学生達を大切にしている講義が多く、学生と教師間で良き信頼関係が構築されていると思われる。

学生からの良くない評言には、一部の授業で配布物が多い、課題が難しい、また一部の社会科学系の授業で言葉（専門用語？）の説明が難しい、というものがあつた。語学系の授業では、（語学以外の）他の話をしている、逆に外国語でしか話さないから授業についていけないとのコメントもあつた。英語や保育以外の勉学になると、予復習の時間確保が難しいのかもしれないが、教養力向上ため少しでも確保に努めてほしいものである。また、教員側の工夫や改善も求められよう。

### 4.2 英語科の授業について

評定結果にも現れているとおり、担当教員の熱意や授業運営に関する工夫に対しては「授業の良い点」を挙げている学生が多い。学生からの良い記述としては、「はじめて勉強する科目でついていけるか心配でしたがいつもテーマに関するムービーを用意してくれたりわかりやすいプリントで授業を進めてくれたので毎回楽しく講義を受けることができました。」、「いろいろな企業の戦略や広告を動画を通して知ることができてわかりやすかつたし、興味を持つことができました。」等がある。

学生からの良くない記述としては、「私は理解するまでに時間がかかるほうなので授業のスピードが速く、理解する前に次に進んでる感じがしたので黒板をうつしているだけであまり頭に入ってこなかつた。」、「怒られることに怖くて、授業に参加したくない時があつた。」等がある。

### 4.3 保育科の授業について

3.3の保育科の評定結果でも表れているように学生の授業に関する評価は高い。そのことは、自由記述でも表れており「わかりやすかつた」「個別にアドバイスをしてくれる」「現場の意見が聞けて良かつた」などのコメントが主に見られた。先生方の特色がしっかり活かされた授業展開をしている物と思われる。

その一方「説明が不十分」「掲示する文字を大きくして欲しい」「言い回しがわからない」「早口で聞きづらい」「教員として適さない発言があつた」などのコメントも見られた。これらの意見は少数であつたが、そのように感じる学生もいる。

授業評価だけでなく、学生がこのことを気軽に教員に話ができる環境作りも必要だろう。学生のコメントを真摯に受け止め今後も授業を展開していくことに努めていき

たいと考える。

## おわりに

評価全体を見ると平均値は高く、多くの学生は講義に満足している。そして、結果の多くが、2015年度前期より改善されていた。しかし、標準偏差にばらつきがあるため、この結果に満足せず、身を引き締めて取り組んでいく必要がある。すべて、最高評価を取ることは難しいことと思われるが、それに向けて教員一丸となり努力することを怠らないことが最も大切である。

今後も、評価をしっかり受け止めた講義の展開を考えていきたい。

学生による授業評価について

調査期間：前期7月／後期1月

調査対象：全クラス

学生の皆さんへ

この調査は、本学の教育活動を充実・改善するための基礎資料を得るために、全クラスについて実施されるものです。なお、この調査データはコンピュータにより統計処理され、担当教員に個々の生データを閲覧させることはなく、「成績」に影響を及ぼすようなこともありません。また、プライバシー保護については十分留意しますので、率直かつ真摯な評価をお願いします。(学籍番号の記入欄は、学生が自分の意見に責任をもって記述してもらうために設けています。ただし、個人を特定するものではありません。)

沖縄キリスト教短期大学FD委員会委員長

沖縄キリスト教短期大学学長

この授業評価アンケートは、大きく3つの項目に分かれています。

「Ⅰ. 学習態度の自己評価」について

ここでは、学生の皆さんに、この授業で自分の学習態度はどのようなものであったかを自己評価していただきます。この項目の目的は、学生の皆さんが「自律学習者」(自分の学習を自分の立てた規律や計画に従って積極的に行う者)として、それぞれの授業にどう向き合ったかを振り返っていただくとともに、その自己評価を今後の学習に活かしていただくことです。

「Ⅱ. 学習環境の評価」について

学生の皆さんが授業を受ける際に、適切な学習環境が提供されていたかどうかをお聞きします。本短期大学と担当教員は皆さんからの評価を参考にし、より良い学習環境の提供に努めたいと思っています。

「Ⅲ. 改善のための提言」について

本短期大学と担当教員は、より良い学習環境の提供のため、改善するべき点があればそれを明らかにしたいと思っています。受講生としての立場から気付いたことを、自由に記述してください。

※記入終了後、指名された学生が回収します。 提出先：教務課

科目名	クラス名	性別	男	女
所属学科	1. 英語科      2. 保育科      3. 科目等履修生	学年	1年	2年
学籍番号	※差し支えなければ学籍番号を記入してください。			

(裏のページへ進んでください⇒)

沖縄キリスト教短期大学

< I 及びIIの評価方法 >

・設問1～8、10～18は、評価欄のあてはまる数字(1～5)に○をつけてください。

評価基準：5 とても良く当てはまる 4 当てはまる 3 どちらともいえない 2 あまり当てはまらない 1 全く当てはまらない

・設問9は、「はい」の場合、該当する数字を( )内に記入してください。

I. 学習態度の自己評価

	評 価 欄				
1. 初回のオリエンテーションを聞き、授業の概要や目的、成績評価の方法などについて正しく理解していた。	5	4	3	2	1
2. 私語や携帯電話の使用など、授業を乱す行為をしなかった。	5	4	3	2	1
3. この授業をきっかけに、発展的な学習や新しい知識に興味を湧いた。	5	4	3	2	1
4. この授業に、積極的に参加した。	5	4	3	2	1
5. 授業時間以外にも、授業の準備や課題を行うなど、計画的に学習に取り組んだ。	5	4	3	2	1
6. この授業を通して、地域及び国際社会の事情に、より関心を持つようになった。	5	4	3	2	1
7. この授業の予習・復習または準備・フィードバックを自主的に行った。	5	4	3	2	1
8. この授業での遅刻はなかった。	5	4	3	2	1
9. この授業での欠席回数を把握している。	はい( )回				いいえ

II 学習環境の評価

	評 価 欄				
10. 授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった。	5	4	3	2	1
11. 授業の開始・終了時間は適切であった。	5	4	3	2	1
12. 授業の進め方にメリハリ(声の大小、説明内容等)があった。	5	4	3	2	1
13. 理解や興味を引き出すよう工夫されていた。	5	4	3	2	1
14. 教員として相応しい発言や態度であった。	5	4	3	2	1
15. 受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた。	5	4	3	2	1
16. 教科書や配布資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていた。	5	4	3	2	1
17. 授業の進度は、適切であった。	5	4	3	2	1
18. 学んだという達成感が得られた。	5	4	3	2	1

III 改善のための提言

この授業を振り返り、学習環境(担当教員も含む)の良かった点・改善点を提言してください。(自由記述)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。